

那須塩原市 市民活動センター通信



開館時間：月～土 9時～22時

※17時以降は会議室の事前予約があった場合のみ開館。窓口での相談業務及び印刷機等の使用のみの利用は出来ません。

日・祝 9時～17時

休館日：水曜日・年末年始（12/29～1/3）

〒329-3157 那須塩原市大原間西1-11-10

TEL 0287-73-5741

FAX 0287-73-5743

E-mail shiminkatsudou@city.nasushiobara.lg.jp

<https://www.city.nasushiobara.lg.jp/>

市民活動センター →



春を待つ けやき

皆様こんにちは。那須塩原市市民活動センターも、平成30年4月に開設し、まもなく3年が過ぎようとしています。この間、皆様には、センター運営にご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、去年は、新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの生活様式が一変し、これまで普通に出来ていたことが出来ないという、これまでに例を見ない経験を強いられました。

この状況が今後も続いていくことを心配していますが、嘆いてばかりいられません。このようなときだからこそ、前を向いて行くことが大切だと思います。

市民活動センターも皆様の声をしっかりと受け止め、市民活動を支援し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るといった与えられた使命を果たし、市民の皆様に必要なとされるセンターになれるよう努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

春はもうすぐそこまで来ています。コロナに負けないよう頑張りましょう。

那須塩原市 市民活動センター

所長 室井 啓二

利用者協議会が発足してから早2年が経過しようとしています。しかしながら、利用者の皆様に対して協議会としてお役に立てていないことにつきまして、はじめにお詫び申し上げたいと思います。申し訳ございません。

利用者の皆様が、センターを通じてたくさんの市民活動団体様と交流をし、それぞれの活動が発展され、那須塩原市がもっともっと良いまちとなったらいいな！という思いで会長を務めさせていただいておりますが、それは今も変わっておりません。協議会役員会でも皆様との交流についてどのように運営していったらいいかという議題にて何度も会議を行ってきました。

そんな中起きた新型コロナウイルス感染拡大。今までに起こったことのない事態に、どうしていいのか分からない毎日です。

今までは、人と人とが顔を合わせ、お互いを支え合うことが普通だったのにそれが出来ないことへの葛藤。活動したいのに感染拡大の要因になってしまうかもしれない恐怖。それらが頭の中をグルグル駆け巡っています。きっともう少しの我慢だと自分に言い聞かせ、感染が収まった時にすぐに活動出来るよう、準備を進めておきたいと思います。

協議会においても少しずつではありますが、皆様との交流を図るべく準備を進めてまいります。

たくさんの方々と顔を合わせる日が一日も早く来ることを願って……

最後になりますが、「苦しい時こそ笑顔でいよう！」が自分のテーマです。

皆様も苦しい時期かとは思いますが、どうか笑顔を忘れずに日々を楽しく過ごしていただきたいと思います。

那須塩原市 市民活動センター利用者協議会

会長 山本 博一



NPO法人三区町地域資源・環境保全会が表彰されました！

第4回「輝く“とちぎ”づくり表彰」で優秀賞を受賞された、NPO法人三区町地域資源・環境保全会 副理事長兼事務局長 鈴木良雄さんにお話をお聞きしました。(インタビューは室井センター所長です。)



(事務局長 鈴木良雄さん)

(セ) 第4回「輝く“とちぎ”づくり表彰」の優秀賞受賞おめでとうございます。

(鈴) ありがとうございます。

(セ) この賞は、NPO法人、ボランティア団体と企業、大学、公益(一般)、社団(財団)法人、社会福祉法人、コミュニティ団体等が協力して行う、優れた社会貢献活動を表彰するものと伺っていますが、今回授賞された「那須開墾社第二農場跡地」の環境保全・維持活動とはどのような内容なのでしょうか？

(鈴) 「那須疏水」と日本遺産に認定された「那須野が原開拓の歴史」に関わる「那須開墾社第二農場跡地」は、旧西那須野町により「歴史公園」として整備されていましたが、平成20年頃は草木で覆われた状態でした。自然環境と歴史ある素晴らしい公園を地域の憩いの場として保全し、次世代に継承することが大事であるとの強い思いから、平成21年から活動を開始しました。平成24年NPO法人を設立、平成26年からは北関東環境整備開発(株)と連携し環境保全活動に取り組んできました。特に12月実施の落葉清掃では、平成28年度から地元小学校野球部にも協力をいただいています。

(セ) 事業を実施する中で大変だったことはありましたか。また、それをどう解決しましたか？

(鈴) 整備前の公園内にある池は、土砂が40センチ程堆積していました。平成21年にその土砂を市と北関東環境整備開発(株)の協力により取り除くことが出来ました。北関東環境整備開発(株)の従業員や西小野球部の部員と保護者の皆さん、そして集めた落ち葉を処理してくれる市やシルバー人材センターの支援があり、感謝しているところです。

(セ) 事業を実施してどのような効果がありましたか？

(鈴) 公園を整備したことにより、国の交付金事業に取り組む「三区町環境保全隊」と連携し、田園ウォーク等のイベント開催や育成会事業、小学生の野外授業(生き物調査)への活用、また、地域住民の散歩コース(健康維持)など、年間600人以上の方が利用するようになりました。

(栃木県庁での表彰式)

(セ) これからどのような事業にしていきたいと考えていますか？

(鈴) 公園内水路を整備し、カワナやホタルの幼虫を放流したところ、平成29年からホタルが舞うようになりました。様々な生き物が生息する環境づくりに取り組みながら、那須疏水と那須野が原開拓の歴史を残す公園として維持管理を続けていきたいと思っています。



(セ) 鈴木さんが、市の「協働のまちづくり推進協議会」に参加したことがきっかけで、まちづくりや市民活動に関心を持ち、今日に至ったと伺いました。これからも健康にご留意いただき、地域づくりにご尽力いただければと思います。ありがとうございました。

那須塩原市レクリエーション協会が表彰されました！

令和2年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰を受賞されました「那須塩原市レクリエーション協会」会長の菊地彰さんにお話をお聞きしました。(インタビュアーは室井センター所長です。)

(セ) 令和2年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰の受賞おめでとうございます。この「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」は、レクリエーションの普及振興に多大な功績をあげた個人及び団体を表彰するものと伺っています。早速ですが、活動の内容や経過についてお聞かせいただけますか？



(会長 菊地彰さん)

(菊) ありがとうございます。

体育協会の中に会長一人のクラブから始まり、昭和47年に旧黒磯市で栃木県レクリエーション大会が開催されたことを契機に数名の入会員があり、「黒磯市レクリエーションクラブ」の活動が始まりました。当初、春は県内ハイキングコース、秋は奥那須の紅葉を求めて沼沓原までの市民ハイキングを実施していました。昭和63年に「黒磯市レクリエーション協会」に変更し、団体加入も認めることにしました。そして、日本レクリエーション協会が提唱する「全国一斉ウォークラリー大会」にも十数年参加開催し、多い時には500人規模の大会となりました。平成15年からは「レクリエーション教室」を開催し、ゲーム、ソング、クラフト、ニュースポーツなど様々なプログラムを提供してきています。市町村合併に伴い平成18年に「那須塩原市レクリエーション協会」に名称を変更、現在に至っています。

(セ) 活動を続ける中で大変だったことがあればお聞かせください。

(菊) 市民ハイキングでは、多い時にはバス2台を使って大勢の市民が参加するわけですから、具合が悪くなったり、途中ではぐれたりして大変でしたが、感謝の言葉をいただいたときはうれしかったですね。また、ウォークラリー大会では、スポンサーを募ったり、安全対策を考えたりと苦労しました。なかなかレクリエーション活動が普及しないこと、会員増につながらないことが課題となっています。

(セ) この活動をこれからどのようにしていきたいと考えていますか？

(菊) 我々がレクリエーション活動を楽しみ、その楽しさを少しでも市民に伝えたいと思っています。これまでもインディアカをはじめ、だれもが気軽に楽しめる多くのニュースポーツの種まきをしてきました。その中でもシャフルボード、カローリング、ディスコンは大会開催までに至っていますので、継続して普及に努めたいと思っていますが、特に用具が安価で手軽に楽しめるディスコンに、力を入れて取り組んでいきたいと思っています。レクリエーションプログラム企画の際にはぜひご相談ください。きっとお役に立てると思います。



(レクリエーション協会の皆さん)



(カローリング)

(セ) お話を伺って、私もニュースポーツを体験してみたくになりました。レクリエーション活動が普及していくことを期待しています。ありがとうございました。

市民活動センターとは？

市民活動センターは、みなさんの自主的かつ営利を目的としない社会に貢献する活動(市民活動)をサポートする施設です。

- 活動(交流)場所の提供
- 市民活動に関する相談支援
- 市民活動に関する情報の収集・提供
- 市民や市民活動を行う団体などを「つなぐ」コーディネート

市民活動センターの位置づけ



市民活動センター案内

【配置図】

(無料Wi-Fiあり)

【アクセス】

